

令和6年度事業計画（案）

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

1. 北九州 ESD 協議会活動

北九州 ESD 協議会は、「持続可能な社会の構築」を目指し、市民団体、NPO、教育機関、企業、行政などのさまざまな主体が協働して ESD の推進に取り組むゆるやかなネットワーク組織として、平成 18（2006）年 9 月 28 日に設立されました。同年 12 月には、地域の ESD 推進拠点として、国連大学高等研究所から RCE（Regional Centre of Expertise on Education for Sustainable Development）の認定を受け、国内外の RCE との相互交流や国際会議への参加等、世界的なネットワークの構築にも取り組んできました。

平成 27（2015）年 9 月に国連で SDGs（持続可能な開発目標）が採択され、本市も平成 30（2018）年 4 月に経済協力開発機構（OECD）が選ぶアジア発の「SDGs 推進に向けた世界のモデル都市」に選定され、6 月には、国の「SDGs 未来都市」、さらには、先導的な「自治体 SDGs モデル事業」にも選ばれました。

このような中、令和元（2019）年 12 月、新たな国際的枠組み「持続可能な開発のための教育：SDGs 達成に向けて（ESD for 2030）」が国連総会にて採択された。決議には、「ESD が質の高い教育に関する SDGs に必要不可欠な要素であり、その他全ての SDGs の成功への鍵」と明記されるなど、改めて ESD の重要性が認識されました。

これらを踏まえ、北九州 ESD 協議会では、SDGs を達成し持続可能な社会を構築するため、引き続き、地域における ESD の推進拠点（RCE）として北九州のみならず、国や国際社会等、あらゆるステークホルダーとの情報の共有や連携を進め、ESD の視点を持つ人材育成につなげていきます。国連で採択された「ESD for 2030」や「持続可能な開発のための教育（ESD）」に関する実施計画（第 2 期国内実施計画）等を基に、令和 4（2022）年度には、運営体制の在り方を検討するワークショップや準備委員会を設け、会員の意見をくみ取りながら「会員が主体となる組織運営づくり」の検討を進めました。そして、令和 5（2023）年度から、本協議会に「合同委員会・活動委員会・未来創造委員会」を設置し、これらによる運営体制に移行することとしました。

また、長く続いた新型コロナ禍において培われた、イベントや会議の開催方法の工夫のノウハウを生かすとともに、「ESD ツキイチの集い」や「韓国スタディツアー」、「交流会イベント」等、対面に戻した企画やオンラインを活用した事業を積極的に展開しました。

さらに、令和 5（2023）年度には、積極的に『出前講座』について市民センターや小中学校にアピールし、94 回もの講座を実施することができました。これは受講された市民への ESD の普及とともに、講師として派遣された会員にとっても活躍の場・ESD の普及の場の創出につながっています。

令和 6 年度は、「北九州 ESD アクションプラン 2021～2025」で定められているチーム活動推進事業を中心に、コロナ禍で十分に行えなかった交流の活発化を図り、引き続き様々な主体との協働により、これまでの活動の更なる推進を図ります。特に、RCE の実務者会議が当地域拠点の担当順となる予定です。

当協議会の活動拠点として入居してきた「まなびと ESD ステーション」については、令和 6 年 6 月をもって撤退することが決定しています。事務局機能及び活動拠点の移転に際して、協議会の会員及び関係機関・団体の皆様へのご不便をおかけするかもしれませんが、一層のご理解とお力添えをお願いいたします。

2. 組織・活動体制

【総会】

団体会員 92 団体
個人会員数 45 名
(R6. 4. 1 時点)

【役員会】

代表代行：日高 京子
副代表：鶴田 直、丹羽 雅也、
北野 久美、大河内 哲子、岩佐 健史
監 事：川原 昌喜、花崎 正子
顧 問：近藤 倫明

【事務局・コーディネーター】

事務局長：不在（臨時代行：合同委員 入門真生） 事務局員：不在
コーディネーター：岩谷かおり

【合同委員会】（下線は委員長）

委員：原賀いずみ、大久保大助、入門真生、村江史年、環境学習課長、コーディネーター

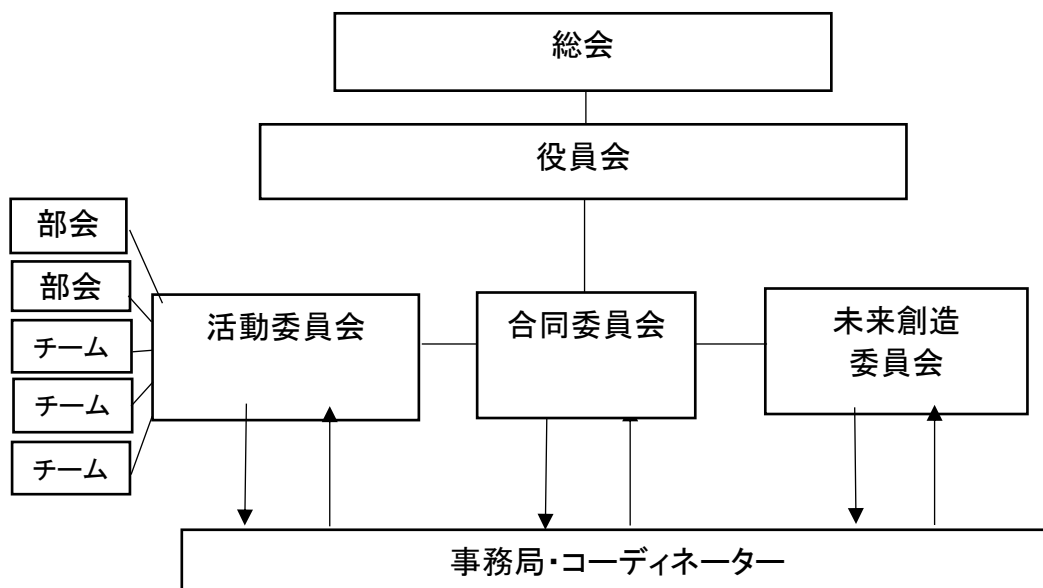
【活動委員会】（下線は委員長）

委員：原賀いずみ、大久保大助、川島伸治、環境学習担当、コーディネーター

【未来創造委員会】（下線は委員長）

委員：入門真生、村江史年、谷本潤、
八百屋さやか、成田詩歩、屋敷佳歩、松山歩未、佐藤愛実、
環境学習担当、教育委員会担当、コーディネーター

北九州 ESD 協議会の活動体制



3. 令和6年度の具体的な活動方針

北九州 ESD 協議会では、地域における ESD の推進拠点（RCE）として、「北九州 ESD アクションプラン 2021～2025」を策定（令和3年6月）した。今年度は、「北九州 ESD アクションプラン 2021～2025」の内容に基づき事業を積極的に取り組むとともに、以下の活動を実施する。

（1）事務局機能・体制

まなびと ESD ステーションの撤退に伴い、毎日西部会館への移転を予定している。

現行の事務局での保有物品の整理、廃棄及び新拠点への移動を行う。

また、北九州市からの負担金予算の軽減もあり、令和6年4月からの常任の事務局長の採用を見合わせている。合同委員会及び役員会での結論として、合同委員の中から、臨時の事務局長代行の体制としている。事務局員の採用も含めて早急に検討を進める。

（2）活動委員会

①ブランディング部会

- ・広報紙「未来パレットだより」制作（2回/年）
- ・地域関連ブランディング
ESD の効果的な普及を目的とした物品制作等

②調査研究・国際部会

- ・活動調査
- ・北九州 ESD 活動調査
- ・韓国 RCE スタディツアー、海外視察等受入れ

③チーム活動推進事業

会員が取り組みたい課題解決に向けて、賛同する仲間を募り、チームを結成して新しい協働のもと活動を実施する。チームは、それぞれが主催者となって、自らの責任のもと事業を実施。協議会事務局は、その活動をサポートし、広報等協力して実施する。また、中間支援として、相談支援やコーディネートを行う。

（3）未来創造委員会

若い世代・次世代への ESD の普及と、ESD 人材の拡大を目的として未来創造委員会ではノウハウの検討と実践を行っていく。

新たな ESD 人材獲得のための「コンテンツ」づくりに注力していくとともに、特に民間企業との連携をテーマに検討を進めていく。

（4）協議会全体事業

- ・総会
- ・国内外 RCE との連携交流
（RCE 実務者会議への参加等）R6 年度の開催地は北九州
- ・ESD 出前講座の実施支援
会員が市民センター等にて実施する ESD 活動（出前講座カタログ掲載）への支援
- ・情報発信事業
Facebook、ホームページ等を活用し、協議会及び会員活動の配信やウェビナー開催、会員への情報紙「未来キャンバス」の配信等
- ・ユースにおける ESD 活動への支援
- ・イベント出展 北九州市主催イベント
（未来ホテルデー、エコライフステージ、企業等主催イベント等）